



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 42 号
2013年1月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



「朝陽に向って羽を休める鶺鴒」
撮影者：佐藤 一男(日立市森山町)
撮影日：平成 24. 2. 18 AM6:40
カメラ：CANON EOS 60D
シャッター速度 1/1500 f8.0
焦点距離 250 mm ISO400
場所：日立市東滑川町
撮影余話：海岸通りの 6 号国道バイパスから海側に少し入ると裸島と呼ばれる島があり、そこに数十羽の鶺鴒が集まっていました。島は二つの大きな岩でできており、右手の岩が大きく頂上には木が生えていて、薄明かりの中ではまるで怪獣のように見えます。朝陽が出て鶺鴒の姿がはっきり見えてくると温もりを感じる写真の風景に変わりました。

新年を迎えて



新しい時代を目指して

支部長 久野 勝邦

皆様、明けましておめでとうございます。一昨年の大震災の影響で、茨城支部の活動拠点も、東暁館別館の世外庵から旧日立木材地所 2 階に移動しました。

また、昨年 1 2 月の総選挙により、日本全体も新しい体制を模索しています。我々の現役の時代は、正に高度成長が続き、坂の上の雲を目指して努力すれば報われる時代でした。これからは、課題を抱えた各種設備の再構築等、緊急の課題も山積しており、社会のあり方も大きく変わって行くでしょう。日立グループにおいても、新しい時代に対応した新しい体制作りを目指しており、茨城地区の各事業所も、今後はどんどん姿を変えて行くことになるでしょう。

このような状況の下で、現役を引退した我々も健康に留意しながら余生を楽しむだけでは十分ではないかも知れません。茨城支部の会員には、実に素晴らしい方々が大勢おられます。今後の日本社会のために何ができるかを考えて行くことも重要となりそうです。

前支部長が唱えられた「親睦から社会貢献へ」という課題は、今後重要性を増してくる筈です。日本の未来のために、子供達のための「日立理科クラブ」も重要な支援活動だと思います。また、現役の人達に対して支援できることがあれば、協力を惜しまないしたいと思います。

皆様方が昔発揮されたエネルギーを、日本の未来のために、明日のまちづくりのために発揮して、何かの貢献ができれば幸いです。

新しい年を迎えて、皆様方及びご家族の方々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

茨城支部からのお知らせ

*第 62-1 回 日立社友クラブ理事会報告

開催日：平成 24 年 12 月 11 日(火)

議 事：会員候補から 105 名が入会され、会員数は 5,436 名になった。茨城支部便り第 40 号、第 41 号が紹介された。

*平成 24 年 12 月 茨城支部役員会報告

開催日：平成 24 年 12 月 17 日(月)

議 事：新入会員候補 7 名の入会が承認され、会員数は 1,082 名になった。

*新入会員募集

日立の組織改変に伴い会員有資格者の把握が難しくなっております。どうか皆様から OB 会等で支部の活動を PR して頂き、親睦の和の拡大にご協力をお願い致します。

茨城支部総会のご案内

平成 25 年度第 111 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。一年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

- 1. 期日：平成 25 年 5 月 24 日(金) 11:10~14:30
- 2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。

世界ボート連盟国際審判員への道 《「弓を弾くヘラクレス」の肉体美を目指して》

引田 周平



一九四六年長崎市内の自宅で原爆被爆二世として誕生した。爆心地から約四kmの場所であった。父は仏文学者、母はピアノリストという家庭環境であった。小学生前半は給食・掃除当番免除で運動会も見ただけであった。夏休みには父が買ってくれた日立製作所製の光学顕微鏡で生物観察するのが楽しみであった。叔父がヴァイオリンを教えていた関係でその稽古に六年生まで通った。強い身体への憧れは一時も頭から離れなかつた。近所を通る人夫や馬方の額の汗と赤銅色の肌が羨望の日々であった。いつかは自分もそのようになりたいと思いつつ続けた。中学の美術の時間、教科書に載ったロダン作「弓を弾くヘラクレス」の肉体美は私を圧倒した。病弱で入退院を繰り返す父、家計を助けピアノを教える母の下で小学四年生以来弟二人の面倒を看ながら風呂焚き、買い物、洗濯、炊事、裁縫などあらゆる家事をこなした。家の補修や障子の張替えもした。

家事優先の生活を離れて大学に入学、一番苦手であった物理学科を専攻した。そして憧れの肉体美創造を目指してラグビー部に入った。反吐を吐くような猛練習が続いた。めきめきと体格が向上した。一年を過ぎた。大学から赴任してきた内田教授(元ボートマン)に説得されて大学にボート部を創り、主将に就いた。ボートが無いのにボート部員を五十名程集めて他の運動部を羨ましながらせうか?」の質問ほど辛いものは無かつた。陸上訓練の積み重ねで部員の

体格もめきめきと向上した。その頃宮崎国体を控え県が四人乗りのナックル艇を購入との報が地元紙に載った。これを借艇してボートの本格的訓練が始まった。卒研で「電子顕微鏡画像の空間周波数特性」に取り組んだ関係もあり日立製作所那珂工場に入所した。生憎ボート部が無くラグビー部に入ると四ヶ月で米国に赴任した。四年二月月後には再び那珂工場に復帰した。その後大学時代の石田コーチの勧めで日本ボート協会の審判員資格を取得した。これがボートとお付き合いを今日まで続けるきっかけとなった。

現在日本ボート協会審判委員、関東ボート連盟役員、東京都ボート協会副会長(兼審判部長)に就いている。二〇一二年の末までは世界ボート連盟国際審判員(世界で約四百七十名、国内で十五名)の一員として活動してきた。世界級の大会では審判員が世界各地から十八名程選ばれて参加となる。小教精鋭主義で責任も重く、昔ホッケーの試合判定を巡り戦争となったと聞いたことがある。一九九八年開催のアジア大会(タイ国)に参加した時ゴール判定の部署に就いた。その時インドとパキスタンが隣同士のレーンを漕いで来た。僅差でゴール、その時は顔面蒼白、脂汗が滲み出して来たことを今でも忘れられない。また一九九九年の世界ジュニア選手権大会



アジア選手権大会会場 (2011年韓国)

会(ブルガリア)ではアジア代表審判員として参加した。遠い国であった。毎度のこのとながら日々のレース終了後は、審判仲間が自然と集まり街中を散策し、おしゃべりをお交えて食事をするのが慣例となっていた。その折もレースが開催されたプロヴディブの町に詳しい米国人審判員のバジャさんが先導、ロイマ市より歴史が古い町の一角を訪ねた。そこでレストランを探した。そこは店の看板が無くやや大きな民家となっていた。まずは飲み物を注文して暫し世界各地の審判員仲間の話をして盛り上がっている頃、やおら小さなめのピアノが運び込まれヴァイオリンとピアノと共にピアノも登場した。いずれも女性である。二十歳まで母からピアノを学んだ私にとっては興味大であった。突然に奏でられた曲が何と!文部省唱歌「海」(松原遠く消ゆるところ♪...)。私が日本人であることを告げた訳でも無いのに!遙か遠く異国で日本の唱歌を聴くことになるうとは!食後は再び散策、二次会(世界中同じか!)へ行くことに話が盛り上がった。同じく彼女の案内で街中を進む。とききなり鉄妙な地下道へと降りていき分厚い鉄



アジア選手権大会審判員一同 (向って左端が筆者)

とコンクリート製の扉を3回程通過し中へ入る。目を見張る程華やかで賑やかな部屋が脂粉の香と共に飛び込んできた。そこにはレスラーのような体格のトップレスの女たちが動き回っていた。この地下バーは何でも冷戦時代に核シェルターだったらしい。女性たちは全員が旧ソ連邦からの出稼ぎ女!国際大会ともなると、民族とナシヨナリズムの激しい戦いでもある。世界ボート連盟のオズワルド会長(スイス人)は原稿無しで五ヶ国語の開会演説をする。審判業務は原則無給で国内外で活動をする。

このようにボートを通してボランティアとして広く交流出来るのは格別の楽しみである。各人の職業も多種多様で大学教授、銀行員、経営者、公認会計士、公務員、事業家、僧侶、会社員等と幅広い。世界では欧米がボート先進国でありアジアでは中国、韓国が力を入れている。設備と艇に莫大な費用が掛かるのが大変だが日本は世界級大会でのメダル初獲得を目指し日々取り組んでいる。東京五輪誘致にも力が入る。



埼玉県戸田市のボートコースでの風景 (1964年に開催された東京オリンピック会場でもある日本ボート競技の中心地)

引田周平氏 連絡先
〒312-0052 ひたちなか市東石川
電話 029 - 354-5022 3528-42
メール: shuhei-hikida@sand.ocn.ne.jp

リレー随筆(42)

おばちゃん先生は愛国の母ではなかった

垣貞 玲吉

昭和20年3月26日の東京大空襲の2ヶ月後、5月初めに国民学校5年生の私は24才の長姉とその子供(1才5ヶ月)と3人で、広島市から50km離れている島根県境近くの船佐村にある父の実家に疎開した。



村の学校では疎開帰りの生徒が増え、生徒数も多くなり、1～5年生迄は各年2クラス、6年生～高等科2年生迄は各年1クラスであったので教員数も多く、校長、教頭、そして4～5人の若手の男の先生、後は全部女の先生であった。その中に女子師範卒で戦争未亡人で3年生の息子を持つおばちゃん先生が居た。いたずらをしている生徒を見つくと、自分の組の生徒でなくとも大きな声で叱るし、時には叩きもする、大柄なおっかない名物先生であった。

既に戦況は末期的状況になっており、こんな田舎にもB29が飛行機雲を引いて飛ぶことが多くなった。そして男の先生が次々と応召されて行き、7月には男は校長先生と教頭先生、後は全部女の先生になってしまった。一人応召される毎に出征する先生を送る“お別れ朝礼”があり、前日にはその予行練習があった。雨が降らなければ校庭で、その朝雨が降っていると急遽3教室をぶち抜いて臨時講堂を作って行く。

お別れ朝礼で演壇の両サイドに並ぶ先生方の中で、ひときわ体格の大きな件(くだん)のおばちゃん先生は、人目もはばからず大泣きをするのであった。出征する先生の挨拶が始まり佳境に達すると、おばちゃん先生の目には涙があふれ、遂に堪えきれなくなって大きな泣き声を発する。私達生徒はもっぱらおばちゃん先生の顔を見ていて、「出るぞ、出るぞ」と言っただけで号泣時点を当て合うのが常であった。



中央玄関前の朝礼台で
“散る桜 残る桜も 散る桜”
の言葉を残してA先生は応召
されていた。

当時疎開先で通った
船佐村立船佐西国民学校

最後に応召されたのは農学校卒のA先生だった。A先生は別れの挨拶で、良寛和尚の辞世の句「散る桜 残る桜も 散る桜」を引用した。この時のおばちゃん先生の泣きは特に激しかった。5年生だった私の脳裏には今もA先生の言葉とおばちゃん先生の号泣が残っている。

今思うと、おばちゃん先生の心が伝わって来ない。彼女は人間性豊かな母親であり、決して愛国の母でもなかった。若い男の先生が帰らぬ人となるのを心から悲しんだのだ。あの戦時中に出征兵士を送るといふ公式の場で、何時も号泣する勇氣は立派であったし、そして何も言わなかった校長先生も立派であったと思う。

同好会行事に参加して

「第54回研修会 鹿島地区見学会」

松崎 四郎



今年5月に社友クラブに入会し、11月の鹿島地区の見学会に参加した。最初に訪れたのは港公園だが、展望塔へ登るのに70歳未満は料金が要るが、料金要だったのは私を含め2人だけだった。次の花王(株)鹿島工場は花王製品の中間原料工場で、(日)海岸工場の約半分の10万坪の敷地に400人弱の従業員しか働いていないとのことで、工場内は見学出来なかったが自動化されていることがうかがえた。また、花王神社なる神社があり従業員全員の植樹があるとのことで、従業員を大事にしている企業に思えた。3番目の広域鹿嶋RDFセンターは可燃性一般廃棄物を固形燃料化する所であるが、内部で殆ど異臭がしないのには驚いた。最後の風力発電所は2,000kW発電機が10機ある。HESの大沼工場の近くに住む人から低周波騒音が煩いと聞いたが、ここでは家の中にいれば気にならない程度であった。

「囲碁の会」

八木 秀行



私は、囲碁の会の発足時からお世話になっています。最近、会場が旧日立木材地所の一室の同好会本部に設定された。準備、運営でお世話下さった会社関係者や幹事さんに感謝します。本会は、実践対局が主体で、月2回(第2水曜日と第4水曜日)の例会と年4回の大会が開催されている。会員の實力は級上位から6段位まで幅広いが、対局は点数制のハンディ戦なので面白い。

当初からみると高齢化が進み、新人は少なく、仲間の

減少は著しい。しかし、囲碁の場合は、相手1人(碁敵)が居ればその世界に没入できるので人数は気にならない。以前、超高齢者のお相手をしたことがある。勝った!負けた!よりも石を並べる時間を楽しんでおられた。昨今、その心境に近付いてきた。ひそかな望みは、時間の制約がなくゆったりと一杯飲みながら打てることである。

「料理教室」

田口 和夫



教室へは5年前の8月初参加でスタートし、早60回を超えてしまった。仕事をやめ何かをと思っていたところであった。それまでは全て女房まかせの上げ膳据え膳のスタイルであった。ところが定年前出張の2年半のアパート暮らしで包丁さばきもままならず、何もできないことを悟り、少しぐらいは自分で料理はと思って参加したのだが、いまや参加される皆さんとの和気藹々なる雰囲気魅せられ、月一回の教室が実に楽しくなった。最近では、教室で覚えたブリ大根は俺に任せてくれと言い、自分では上達したつもりでいるから笑いである。また、パン作りで覚えたシフォンケーキは、何度かの挑戦でやっと失敗なしのレベルになり、これを友人に「おじいさんの作るシフォンケーキレシピ」として紹介し、悦に入っている。自分で作る料理は、うまみも倍増、脳も活性化、ボケ防止に役立つと思っている。

編集後記 会員の皆様、明けましておめでとうございます。引田さんの「審判員への道」は素晴らしいご自分史であり感銘致しました。皆様も是非「私の履歴書」的に纏めて投稿下さい。垣貞さんの仰る真の愛国心が通用する世を維持したいと思います。 長島 重和

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第52回歩こう会【日立市桜花めぐり】

今回は花見コースとして日立市の代表的な場所を計画しました。神峰公園のジオパーク指定の5億年前の岩石の見学(田切 茨大名誉教授)も加えました。

- ・開催日：平成25年4月11日(木)
雨天延期4月25日(木)
- ・集合：常磐線日立駅 10:00 スタート
JR時刻:水戸9:23 勝田9:30 佐和9:34
大甕9:45 多賀9:50 日立9:55着
- ・コース：日立駅→平和通り(自由)→常陽銀行→
熊野神社→神峰公園(昼食)→ジオパーク
説明→日立駅 15:00 解散
(7km 平坦地)
- ・持参品：弁当、飲み物
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：平成25年4月4日(木)
- ・申込先：須江 二郎 Tel/Fax. 0294-53-5901
E-mail : j-sue@nifty.com

2. 第55回研修会

歴史探訪【新島八重の生涯と幕末の会津】

今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公である新島八重の生涯と幕末の会津に触れる一泊研修を行います。

土津神社、善龍寺、鶴ヶ城、大河ドラマ館、飯盛山、他 新島八重関連史跡を探訪します。また、郷土歴史研究家の講演会も予定しております。

皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成25年4月26日(金)～27日(土)
- ・集合場所・発車時刻：勝田駅 西口 6:10
日立駅 海岸口 7:10
- ・宿泊：東山温泉くつろぎ湯「千代滝」
- ・帰着：4月27日 勝田駅西口 18:20 頃の予定
- ・会費：23,000円予定(バス、宿泊、昼食代他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：3月15日
- ・申込先：石田 和夫 Tel/Fax : 0294-34-0209
E-mail : ishida.kazuo@nifty.com

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考
		2月	3月	4月			
野鳥自然観察グループ	城戸勝弘 0294-39-2119 kkido@kxd.biglobe.ne.jp	18(月)			潤沼	9:00～	参加費:¥200/回 原則雨天中止
			18(月)		高戸海岸	9:00～	
				15(月)	水沼ダム	9:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	13(水)	13(水)	10(水)	同好会本部 (3/13; 囲碁大会)	10:00～ (9:30～)	参加費:¥100/回 大会のみ:¥1500
	27(水)	27(水)	24(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	21(木)	21(木)	18(木) 大会	大島コミュニテイ センター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	12(火)	11(月)	8(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1600/回
		25(月)	25(月)	22(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	6、13、 20(水)	6、13、 20(水)	3、10、 17(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	4(月)	4(月)	1(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	1(金)	1(金)	5(金)	大久保 交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	5(火)	5(火)	2(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	12(火)	12(火)	9(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	26(火)	26(火)	23(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	シニア パソコン 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	18(月)	18(月)	15(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	Fireworks 勉強会 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	15(金)	15(金)	19(金)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
Dreamweaver 実践講座		28(木)	28(木)	25(木)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。
衷心よりご冥福をお祈り致します。

鈴木 正和	平成24年10月12日	享年76歳	滝 孝光	平成24年11月26日	享年75歳
御代田安旦	平成24年10月14日	享年77歳	江田 實	平成24年12月16日	享年78歳
井上 一哉	平成24年11月14日	享年90歳	井原 一男	平成24年12月21日	享年88歳
清水 泉	平成24年11月25日	享年73歳	塚本 恭史	平成25年01月07日	享年71歳